

31人の新しい仲間

開校式に引き続き、体育館では3校が統合して最初の入学式が行われ、31人の1年生が新たに御厨小学校の児童となりました。

体育館にかわいい童謡が流れ始めると、その曲に合わせて1年生が入場。在校生や先生、保護者たちは大きな拍手で出迎え、1年生たちは照れくさそうに在校生の間を通り、ステージ前の席に座りました。

1年生の名前が一人一人呼ばれると、少し緊張した表情を浮かべながらも、すつと立ち上がり「はい」と大きな声で返事をしました。

鴨川校長は、あいさつの中で、「1年生ががんばって欲しいことが3つあります。お勉強をしっかりがんばること。一人でできることを増やしていくこと。返事とあいさつがきち



んとできること。皆さんが一生懸命がんばることをたくさんの方が応援しています」とエールを送りました。

その後、在校生代表のあいさつでは、6年生の加椎望弥のぞみさんが「これはたくさんさんの楽しい行事が待っています。勉強も始まります。しっかがりがんばってください」と話し、同じく6年生の内野聖那君は「友達も増えます。たくさん遊んで楽しい学校生活を送りましょう。分からないことは、僕たちに聞いてください。これから仲良くしていきますよ」と1年生を歓迎しました。

1年生は、それに答えるように全員で声を合わせて、「ぼくたち、わたしたちは、今日から御厨小学校の1年生です。よろしくお願いします」と元気よくあいさつしました。

式では、ほかにも在校生から歌のプレゼントや地区の青少年健全育成会議から黄色い交通安全の帽子が贈呈され、式の最後には、みんなが新しい校歌を歌い、御厨小の児童として、気持ちを一つにしました。

思いを一つに

小学校が統合し、1週間ほどしたある日、それぞれ田代小、大崎小、御厨小に通っていた3人の児童に今の心境などを聞いてみました。

答えてくれたのは、6年生の村尾俊人君（大崎小出身）、山田彩乃あやのさん（御厨小出身）、久保理莉亜りあさん（田代小出身）。皆さんは、校内の各地域のまとめ役として頑張っています。

最初に、「新しい小学校生活が始まった今の気持ち」を尋ねてみました。最初に出てきた言葉は、やはり「学校が無くなって寂しい」、「みんな



▲写真左から村尾俊人君、山田彩乃さん、久保理莉亜さん

と仲良くなれるか不安」というものでした。しかし、その後には、「今はすごく楽しい」、「友達をたくさん作りたい」という明るい言葉も付いてきました。子どもたちも現状を前向きに捉えてがんばっている様子を感じました。

次に「今がんばりたいことは」と聞いてみると、3人とも「みんなと仲良くすること」と答えてくれました。「これから楽しみにしていることは」との問いには、「修学旅行」「ミュージカルの発表」「運動会」という回答があり、その理由は、「新しい友達と絆を深めたい」「みんなと力を合わせて盛り上げたい」というものでした。

最後に「新しい友達や皆さんを見守ってくれる人たちへ伝えたいことは」と尋ねてみると「ありがとう」、「これからもよろしく」という感謝と親しみに満ちた言葉が返ってきました。

子どもたちは、学校生活を通して、お互いに刺激し合い、学び合い、助け合いながら社会性や協調性を身に付けて、人として大きくなっていきます。

仲間を大切に、そしてみんなが一つになって、新しい歴史を作り上げていくという思いが子どもたちの中にはすでに芽生えているようでした。その広がりからこの御厨小、そして地域を支えていきます。

御厨小学校校歌

- 一、はるかに仰ぐ 大岳に
希望の未来 描きつつ
仲よく 友と 手を取りて
友情の輪を 築きゆく
われらが 御厨小学校
かがやく光 いや増さん
- 二、永遠に流るる 竜尾川
栄える故郷を 夢に見て
学びの道に 努めつつ
朝な夕なに 進みゆく
われらが 御厨小学校
溢れる望み いや増さん
- 三、世界の海へ 広がれる
玄海の風 胸に受け
こころと体 鍛えつつ
共に肩組み 励みゆく
われらが 御厨小学校
みなぎる力 いや増さん



地域と一つに

学校の統合は、少子高齢化が進む現代にとって、避けては通れない課題の一つです。

このような課題に直面したとき、地域はその将来を見据え、大きな選択と決断に迫られます。

今回統合した3校は、いずれも地域コミュニティの拠点として存在し、運動会や伝統芸能、体験学習などを通して児童、先生、保護者、地域のお年寄りたちが世代を超えてさまざまな交流を続けてきました。

学校は、単に子どもたちの学び舎としての役割だけでなく、地域と強くつ

ながること、コミュニティの構築を支える役割も果たしてきました。

また、子どもたちにとって学習の場は学校だけでなく、地域に伝わる伝統や文化、地域の行事などを通して、普段の暮らしの中からもたくさんを経験し、学んでいきます。

このように、学校と地域は、子どもという地域の宝を介して強い絆で結ばれています。

学校の統合は、地域を見つめ直し、より良き方向性を見い出す機会でもあります。学校と地域が一つになり、自分たちが生まれ育った故郷の未来を考えていきましょう。



御厨町地区長会
会長 川畑 喜久雄

児童が心一つにして披露した新しい御厨小学校の校歌。すばらしい校歌に私自身も大変共感したしております。

特に「仲よく友と手を取りて友情の輪を築きゆく」「学びの道に努めつつ朝な夕なに進みゆく」「こころと体鍛えつつ共に肩組み励みゆく」の歌詞は児童のみならず、私たち地域住民にとっても大切なことだと感じました。

御厨町に小・中学校がそれぞれ1つとなった今、これまで以上に町内の地域間交流も盛んになるのではないかと思います。住民の誰もが、自然体で親睦を深めながら、歌詞にもあるように手を取り、肩を組み、励まし合いながらより良い地域の未来のために進んでいくことが必要だと思います。

そうした地域環境の中で、これからの故郷を継ぐ子どもたちの夢の実現のため、教職員の皆さん、保護者の皆さん、そしてわれわれ地域人が一つとなり、子どもたちの成長を見守り、育てていけたらと思います。